



深田久弥

山の文化館だより

平成29年
夏号

深田久弥 山の文化館
〒921-0067
石川県加賀市大聖寺森場町十八
TEL (0762) 721-3311
FAX (0762) 721-1181

久弥祭 開かれる

去る四月二十三日（日）第二十一回久弥祭が行われた。今年の久弥祭は、まったく趣を変え、深田久弥が初めて登った山、富士写ヶ岳を望む九谷ダム横の広場を会場に執り行われた。富士写ヶ岳に向かって作られた祭壇で、例年のごとく献花、献酒、はつしほ俳句会による献句、久弥作品の朗読が行われた。最後に深田久弥の訳詩がもととなっている「もしか或る日」（注）を参加者全員で合唱した。晴天にも恵まれ、約七十名の参加を得、厳かに行うことが出来た。

また今年は、石川県勤労者山岳連盟、日本山岳会石川支部、山中山岳会、加賀山岳会、加賀ハイキングクラブとの共催で行われた。これらの団体は、昨年山の日の記念事業として取り組んだ富士写ヶ岳山頂方位盤新設事業で協力してきた団体である。式典終了後、参加者は五彩尾根より富士写ヶ岳に向かった。

（注）一般的には「いつかある日」と歌われているが、原詩の意味から見ても、「もしか」が正しいと考え、敢えて「もしか或る日」と歌った。今後もう歌ってゆきたい。



富士写ヶ岳に向かって祭壇を

献句紹介

咲き初めしヒマラヤ椿久弥の忌
春光の山駆け巡る九山忌
忌の墓苑いづこに立つもあたたかし
登山靴ものの言ひたげに遺されし
師を讀ふ百の名山笑ひ初め

（九山忌に読まれた句です）

久弥祭献句 はつしほ俳句会

駒形 隼男

小林 牧羊

西田さい雪

高堂智恵子

萩 聖樹

久弥祭に参加して

語りかける花たち

吉村 由美子

朝の光の中、簡素な中にも心のこもった久弥祭が執り行われ、静かな山あい久弥著作の朗読や山の歌声が響いた。

私は山の文化館パーティーの一員に加えてもらい山頂をめざす。

富士写ヶ岳は花の山である。五彩尾根は咲き競う可憐で美しい花たちに彩られていた。富士写ヶ岳といえば石楠花ばかりを描いていた私には新鮮な発見でもあった。

可愛い妖精たちが舞うようなイワウチワの淡いピンクの花の大群生は疲れを癒してくれ。真っ白なタムシバの花も新緑の中に映えて美しい。山頂付近の石楠花は、ほころびはじめた蕾が柔らかな春の陽射しを浴びて、まさに躍動しようとする息吹に満ち溢れているようです。

山頂は大勢の登山者で賑わっていた。

昨年の夏に皆んなで助け合って出来上がった方位盤を包むように純白の白山が遠くにたなびいている。

「ふるさとの山はいいなあ」と、盤に刻まれた久弥さんの顔が笑っているように思えた。

久弥のえにに繋がる人達と、やさしく語りかけてくれた花たちとの富士写ヶ岳登山は、忘れたい思い出となり、元気に山歩き出来る幸せを胸いっぱい感じる一日であった。

深田久弥ゆかりの地 く片野海岸く

『日本百名山』その「白山」の冒頭に「私のふるさとの山は白山であった……泳ぎに行き海岸の砂丘からも……見えた」と記されている海岸が片野町の海岸です。

久弥さんは大聖寺学生会のメンバーと、親しい友人と、家族・親族達とたびたび片野海岸を訪れ楽しんでいました。片野海岸は久弥さんのお気に入り場所だったと思っています。当時は、大聖寺から峠を越え、鴨池の脇と片野町を抜け、砂丘を超える片道約6kmの道程を経て片野海岸に向かっていた。



現在の片野海岸貝浜



貝浜にある滝

場浜に降りる階段が現れます。粗目の砂や砂鉄の浮き上がった場所も久弥さんが遊んだ幼少時代から何も変わっていないと思われるそうです。貝浜の奥には崖の上から小さな滝も流れています。昔の人はこの滝で塩気を洗い流した後に帰路に向かっていたそうです。

白山開山千三百年によせて ふるさとの山「白山」展

七月八日(土)～九月十八日(月)
深田久弥山の文化館 聴山房にて

今年は白山開山千三百年ということで、各地でいろいろな取り組みがされていますが、深田久弥山の文化館では、深田久弥は白山についてどんな作品を残したのか、深田久弥の初めての白山登山のルートはどんなだったかなど、深田久弥の白山への関わりを中心に、白山の古地図など歴史的資料や、我々が身近に接する白山グッズ等、多面的に白山を紹介します。

余談ですが、幼少時代の久弥さんたちは帰路、片野町の親戚に立ち寄り砂糖を舐めたり、キュウリを食べながら帰ったと言われています。(T・M)

間こけ会予定

●七月二十三日(日)

演題 「雲と天気予報」

講師 中江 実氏

●十月十五日(日)

演題 「深田先生あれこれ」

講師 宗實 慶子氏

読書会のお誘い

深田久弥さんは、登山家でもあり作家でもありました。その有名な『日本百名山』の中から、また他の著書の中から一つを取り上げて、皆で読書会を開きたいと思っています。山好きな方、おしゃべり好きな方、久弥さんに親しみたい方、是非お集まりください。

【第一回の予定】

日時 八月二十二日(火)

午後二時三〇分～三時まで

場所 山の文化館 聴山房

連絡先 深田久弥山の文化館

☎七六―七二―三三三三

*詳細はホームページをご覧ください

編集後記

北陸地方もやっと梅雨入りしました。不順な日が続いているですが体調に気を付けて、登山・ハイキングなどでリフレッシュしてください。

山文便りも二年目を迎えます。楽しみにしていただけるよう努力してまいります。